

# 性的少数が暮らしやすい社会

## ～トランスジェンダーの悩み～

「自分は本当は男なのに『元は女なんだ』と思われたくない...」「自分の体を憎んだ」  
そもそもトランスジェンダーとして扱われることを望んでいない...。シリアルに「男」「女」として社会生活をおくりたいだけなのに  
「元男性」「元女性」とされるのが苦しい。  
トイレでは、どちらかに入ってよいのかわからず、苦しんでいる。しかし、最近では「体と性がちがうトイレに入ることによって意図しないカミングアウトを防ごう」ということで、誰でもトイレを設置することになった。

## 女子同性同士の結婚

同性間結婚もしくは、同性婚といい、男女の夫婦と同じ、ある種の社会的な権利が与えられ法的な保護が行われる場合がある。現在日本で同性同士の結婚はできません。両生とは異性のことを示しており、憲法上では結婚は許されない。これは、同性愛者に対して不平等ではないかという声が多数上から起ります。

## 性的少数者についての考え

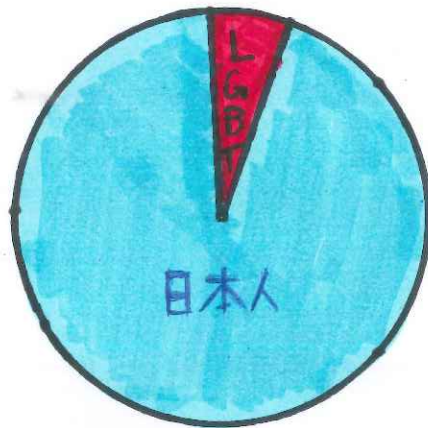
トランスジェンダーについて、今現在日本では理解されていないと思う。理解されずに同性者同士の結婚が認められなかったり、いじめがあったりすることは、相手の権利をしかけている。平等な社会を築くためには、トランスジェンダーだけのことをめざさず、平等に理解することが第一歩だと思う。そもそも、トランスジェンダーやLGBTと名前をつけ、区別することが間違っていると思う。

L esbian

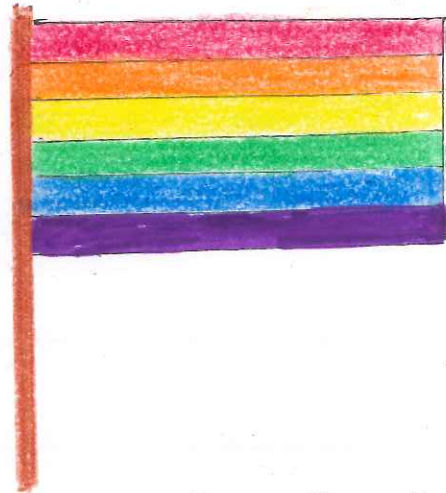
G ay

B isexual

T ransgender



日本人の  
76%が  
LGBT



レインボーフラッグ

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアルトランスジェンダー(LGBT)の尊敬とLGBTの社会運動を象徴する旗。1970年代から使用されており、フラッグに使われた色はLGBTコミュニティの多様性を表し、LGBTの権利パレードの一種ゲイ・パレードではしばしば見られる。